

# 提言書

令和7年度とっとり若者地方創生会議

## 目次

本年度の活動状況	・・・	p.1
提言	・・・	p.2
提言	・・・	p.3
委員名簿	・・・	p.4

○本会議の目的

鳥取市における地方創生の取り組みの中心課題である若者の定住やまちのにぎわいづくりに必要となる施策について、若者自らが調査・研究し、若者の視点による地方創生の深化に向けた意見の反映を図る

○本年度の検討事項

- ・ インスタグラムでの発信
- ・ 関係人口の創出
- ・ 安心・安全のまちづくり
- ・ 魅力的なシティプロモーション

○本年度の実施イベント

- ・ 第2回高校生が考える輝く未来のワークショップ

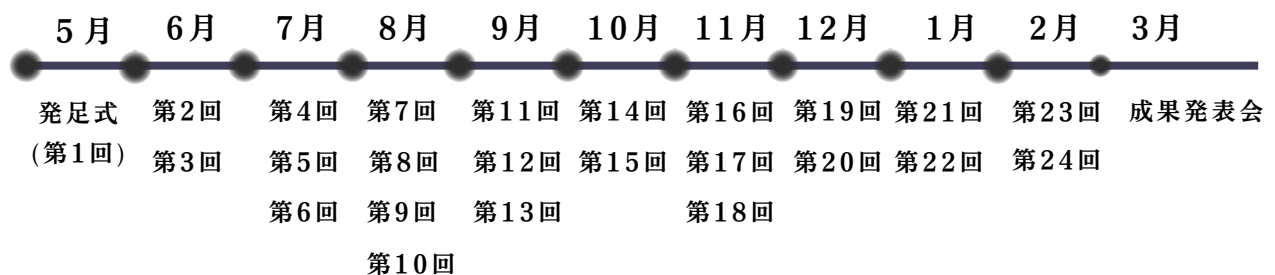
○本年度の調査活動

- ・ 市内在住の大学生・専門学生を対象とした防災意識に関するアンケート調査
- ・ シティプロモーション検討のための「推し事」に関するアンケート調査

○会議開催日

令和7年

令和8年



## 関わり続けたい街

～外から繋がるまちづくり～

### 1 「高校生が考える輝く未来のワークショップ」の継続開催



鳥取市内の高校生を対象とした「高校生が考える輝く未来のワークショップ」を継続開催することを提言する。地域の魅力や課題に主体的に向き合う機会を定期的に提供することで若者の地域理解が深まり、将来的なUターンや継続的関与につながると考える。

### 2 高校生ワークショップ専用ホームページ開設と学習資料公開



鳥取市公式ウェブサイトには高校生向けワークショップのページを開設し、学習履歴や成果を可視化できる環境を整備することを提言する。併せて市職員によるレクチャー資料を公開することで市内の高校における探求学習に寄与することも期待できる。

### 3 鳥取市を研究対象地域とした学生研究支援制度の創設

鳥取市を対象に研究を行う学生への助成制度を創設し、交通費・滞在費を年2回程度補助することを提言する。年度末の成果発表を通じて知見を市に蓄積し、地域課題の理解と今後起こり得る社会課題の解決に寄与すると考える。

## コラボできる街

～神対応を見せるまちづくり～

### 1 クリエイター誘致によるシティプロモーションの推進

鳥取市を舞台とした動画調査から、日常風景の魅力や行政の柔軟な協力姿勢が高く評価されていることが明らかになった。今後もクリエイターとの連携を継続するとともに、一定の発信力を持つ制作者の市内滞在を支援する助成制度を創設することを提言する。

## いつでも繋がる街

～共感を繋げるまちづくり～



### 1 AIを活用したSNS運用

AIを活用したSNSの運営を行い、より効果的な投稿の作成を提言する。SNSの投稿の閲覧数等をAIにより分析することで、SNSの利用時間や需要の高い情報等を抜選することが可能になり、より多くの人に鳥取市の魅力を発信できると考える。

### 2 SNSを活用した若者の滞在型観光の促進

若者がクーポンを利用しながら鳥取市に滞在し、その体験をSNSで発信する仕組みの構築を提言する。これにより若者の鳥取市への滞在を促すだけでなく、より発信力の高い魅力発信が可能になると考える。

## 安心できる街

～安心・安全のまちづくり～

### 1 「アクセス手段の増加による認知網の拡大」

調査より防災に関する情報を観光客や市に在住する若者が十分に把握できていない課題が明らかになった。そこで、鳥取市防災ポータルサイトへのアクセス手段を増加させ、認知網を拡大させることを提言する。サイトへ導入するQRコードを防災情報カードや観光パンフレットに掲載し、市内の大学や宿泊施設に配置することで、サイトの認知度向上や利用者の増加に繋がると考える。

## 会長

石川 妃奈穂  
公立鳥取環境大学 3年

## 副会長

高須 未咲  
公立鳥取環境大学 4年

## 市外委員

村田 航  
会社員、構成作家

野間 嵩央  
株式会社中海テレビ放送

下江 信之介  
九州大学大学院 1年

藤原 洋希  
神戸大学大学院 1年

## 市内委員

本山 愛依  
全国農業協同組合連合会鳥取県本部

大橋 ころろ  
公立鳥取環境大学 4年

下村 時郎  
公立鳥取環境大学 3年

澤 心愛  
鳥取大学 3年

石橋 七絵  
公立鳥取環境大学 1年

川瀬 優里那  
公立鳥取環境大学 1年

布野 麻菜美  
鳥取大学 1年